

2025 年度予算案 組み替え動議

財源確保し、暮らし応援の施策実施を 低所得者への水道料金の値上げ中止を提案

みつなか美由紀議員

日本共産党市議団を代表し、2025 年度 名古屋市一般会計予算の組み換えを求める 動議についてご説明申し上げます。

物価高騰が 市民生活と中小企業の経営を 直撃する下、広沢市長が提案した 2025 年度 一般会計予算案は、さらに市民に負担を強いる一方で、不要不急の 大型事業を進めるものです。



以下の方向で抜本的な組み替えを提案します。

第一に、金持ち優遇の 市民税減税を中止するとともに、名古屋城天守閣木造復元や、中部国際空港 二本目滑走路関連、名駅南地下 公共空間整備、木曽川水系連絡導水路関連など、不要不急の大型開発事業を中止し、約 114 億円の財源を作ります。

第二に、確保した財源を、市民の 命と暮らしを 守るために活用します。

小学校給食費の無償化、フリースクール利用者への 利用料助成制度の創設、高等学校 給付型奨学金の 対象を拡大し、子どもたちの成長と学びを保障します。看護就学資金 貸与制度の再開、奨学金返還支援制度の創設で、若者を支援します。上下水道料金の低所得者への値上げを中止し、生活保護費の夏季見舞金を復活します。国民健康保険料を引き下げます。加齢性難聴者への補聴器購入 補助制度を創設します。住宅リフォーム助成制度を創設し、中小業者の仕事を増やします。

以上、市長に対し、一般会計予算案を速やかに組み換え、再提出されることを求めて、説明を終わります。